

医療・福祉・文化



史跡賞田廃寺跡整備に アユモドキ保護の視点を

問 史跡賞田廃寺跡環境整備事業に国指定天然記念物アユモドキの生息地としての位置づけも取り入れては。



文化遺産と自然の保護両立へ(賞田廃寺跡)

答 平成17年度から事業を実施しているが、所在地がアユモドキの生息密集地域内に位置しており、史跡整備と生息地整備とを関連づける地元要望もある

ことから、今後、整備内容について文化庁と検討・協議したい。

福祉総合システム本格稼働 市民福祉サービス向上へ

問 各種福祉業務を対象とした福祉総合システムの概要は。

答 福祉事務所等の窓口での市民サービス向上と業務の効率化を目的に、障害福祉・福祉医療・児童手当・生活保護等の個別業務システムと福祉窓口支援システムで構成し、住民記録や市県民税等のシステムとも連携させる。全市域のデータを一括処理するため、福祉事務所間でデータ検索が可能となる。平成19年2月の本格稼働を目指し、業者による開発作業を進めている。

特定高齢者に 介護予防プラン作成へ

問 特定高齢者^{※2}についての①具体的な把握方法は②本市の地域支援事業の内容は。

答 ①老人保健事業基本健康診査時に、基本チェックリストの自己記入、問診、身体計測や健診担当医の総合判定により決

定し、平成18年度は約六千四百人を見込んでいる②地域包括支援センターが本人の意向や生活環境等を踏まえ、はつらつ元気のつよい事業、介護予防・転倒骨折予防教室など介護予防事業を盛り込んだ介護予防プランを作成する。

大廻小廻山城跡整備方針

問 国の史跡指定を受けた大廻小廻山城跡の国庫補助による整備のプロセスは。

答 史跡指定地およそ七十六



現代へよみがえる歴史の足跡(大廻小廻山城跡)

用語解説



※2 特定高齢者 = 市町村が基本健康診査等により要となる高齢者。認定者となる高齢者は平成18年4月の創設された「地域支援事業」による各種介護予防サービスが提供される。

市民病院の在り方 幅広い意見を聞いて議論

問 「市民病院あり方検討委員会」が結論を出す前に、利用者の声を聞くべきでは。

答 検討委員会には利用者の立場からも委員として加わってもらい、市民サービスとして必要な病院であるかどうか、建て替えの必要性があるかなど議論してもらおう。検討経過や提言は逐次公表し、市民や市議会などの幅広い意見を聞きながら、最も望ましい方向性を探り、できるだけ早く、市としての結論を出したい。

委員会の異動

◇ 社会システム・スポーツ振興調査特別委員会
(旧) 委員 三宅 英夫

◇ 都市活性化調査特別委員会
(新) 委員長 三宅 英夫

会派役員の異動

◆ 公明党岡山市議団

(新) 副団長 磯野 昌郎

幹事長 田尻 祐二

副幹事長 松岡 茂

(旧) 副団長 酒見 寛

幹事長 磯野 昌郎

副幹事長 田尻 祐二

副幹事長 松岡 茂

次回本会議のお知らせ

9月定例会は9月8日(金)から9月26日(火)まで開催の予定です。

編集後記

6月定例会では、合併・政令市移行問題や行財政改革への取り組みなど市政全般にわたる重要な課題について論戦が繰り広げられました。

市議会だより第四十二号ではこれらの内容についてお伝えします。

